

子どもたちの「あふれる笑顔 きらめく瞳」をめざして



中学校区一貫教育校園 玉野市立玉小学校 学校だより第14号（令和4年9月13日）

運動会って何のためにするの？

みなさん、運動会の練習ご苦労様。練習が進んできて、多目的室から運動場に場所を移動し、本番のようにがんばっています。時折、見に行きますが、みなさんのがんばる姿がとても嬉しいです。

さて、運動会って何のためにするのでしょうか？

みなさんが普段受けている授業では、黒板に【めあて】が書いてあります。【めあて】は「今日の授業では、〇〇がわかる」とか「〇〇ができるようになる」というような、みなさんになってほしい【めざす姿】です。

運動会にもみなさんが【めざす姿】、学校が【めざす姿】があります。

それは、体育主任の 先生が作った玉小運動会実施要項（運動会について、いろいろと決めているもの）の最初に“何のためにするの？”が書いてあります。

○運動会を楽しみながら、スポーツ愛好の精神を育てる。



運動会の練習や本番を通して、「楽しい」という気持ちや大きくなっても運動が好きな気持ち、体力の向上や自分に負けない気持ち、他の人への思いやりなどを高めてほしい。

○運営上の係活動などを通して、集団の一員であることの自覚と、自主・協力・責任などの態度を養う。



みなさんそれぞれに学級で自分の役割があります。高学年の人は委員会の仕事もあります。（例えば放送係）それを精一杯行うことやチームのみんなと一緒にすることで、「しんどかったけれど、やって良かった（充実感）」「この学級や学年のみんなと一緒にできて良かった（みんなとやるよさ）」という気持ちになってほしい。

○体育的活動の発表の場として、日頃の学習の成果を保護者の人々に見ていただき、学校教育の理解の一助とする。



普段の授業で学んだことや学級や学年、児童会で取り組んだことの成果を発表すること…みんなが精一杯取り組んでいる姿を見ることが保護者の方々にとっては何よりの喜びだと思います。そんな玉小学校を見てほしい。（学校の【めざす姿】ですね。）



これには、【めあて】から思う「運動会の練習や本番を通して、私が児童のみなさんに身につけてほしいこと」を書いています。「こういうことを考えればいいんだ」「こうなればればいいんだ」と心にとめてくれれば嬉しいです。

みなさんが考えた【めあて】は？

みんなの力を一つに最後まであきらめず立ち向かえ!!



運営委員さんが中心となって取り組んだスローガンづくり。1～6年生の思いが詰まったよいスローガンとなりました。進めてくれた運営委員さん、学級で考えてくれたみなさん、ありがとう。

これを見ると、表に書いた先生達が考えるみなさんの【めざす姿】と同じですね。「みんなの力を一つに＝協力」「最後まであきらめず立ち向かえ＝自分に負けない、自主・責任など」

**「何のためにやるのか」「どうなればよいのか」をわかって
【めあて】をやり遂げる運動会にしよう**

そしてお願い…【めあて】をやり遂げるために、こんな気持ちで取り組んでほしい。

○島崎藤村の詩より

まずは有名な詩人・小説家の島崎藤村(1872～1943)の詩です。前の職場で国語の先生からこの詩のことを教えていただきました。初めて読んだときに“その通り”と感じました。お家の方々、先生たちの思いがギュッと詰まっている詩だと思います。

一所懸命さが見える運動会にしましょう。

「運動会」

きみたちの、力いっぱいやる演技が
みたい。
感動をよぶ、ひたむきで、まじめな姿
がみたい。
自分をごまかさず、あまやかさず、
正々堂々と、最後までやりぬく姿は美
しい。
強くなくてもいい。速くなくてもいい。
じょうずでなくてもいい。そして負け
てもいい。
しかし、絶対に許せないのは、中途
半ばなやりかたと、ずるい根性、全体
の美をそこなう行為である。

島崎 藤村

○トロフィーが出ないこともがんばろう！

私が以前、やっていた競技でお世話になったスポーツ少年団の先生が子どもたちにいつもこの言葉「練習や試合では、賞状やトロフィーをめざしてがんばれ！でも一番は賞状やトロフィーが出ないことも一所懸命できる人になろう！」と言っていました。私にもよく言われていました。

この運動会に置きかえると、みなさんは赤組・白組の一員として優勝をめざして、自分の力を精一杯出したり、みんなと協力して取り組んだりします。それはとても大切なことです。それに加えて、トロフィーが出ないこと（例えば話を聞く姿勢・整列の態度・係の仕事等）にも一所懸命がんばるみなさんでいましょう。